



～ 14年前に描いた絵に
感動の再会～



高田幼稚園「大人へのタイムカプセル贈呈式」

かみふらの 議会だより

第 81 号

2014年2月10日発行
発行 上富良野町議会

- 第4回定例会 各会計補正予算を原案可決・・・・・・・・・・ P2
- まちづくりを問う!! 一般質問3名の議員が質問!・・・・ P7
- みんなの声 「町のひと」ヘインタビュー!・・・・・・ P12

第4回定例会を12月10日・11日に開催し、各会計の補正予算や条例改正などが議決されました。
一般質問は、3名の議員が町政について質問をしました。

しました 立圏形成協定」

定住自立圏の

形成に関する協定書を

富良野市と締結する議案を議決しました。

「定住自立圏の

形成に関する協定書」とは…

富良野市が総務省令に基づいて富良野圏域の4町村と協議を進めていた「中心市宣言」が平成25年9月4日に発表されました。それに伴い、「定住自立圏の形成に関する協定書」を富良野市と富良野圏域4町村の上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村が個別に協定書の締結を議会の議決によって進めることになりました。

定住自立圏形成の目的は「相互の役割を分担し連携しながら、定住に必要な都市機能及び生活機能を確認し、安心して暮らせる定住自立圏を形成する」ことであり、連携する取り組みの役割分担は政策分野ごとに協定書の中で条文化されています。

その議決した議案によって、富良野市議会は平成25年12月13日の第4回定例会で上富良野町との協定書の締結が議決されました。

※12月25日に富良野市で合同調印式が開催され、協定が締結されました。

○富良野市と上富良野町が「連携して取り組む政策分野」○

①生活機能の強化に係る政策分野

1 医療	・救急医療の維持・確保 ・圏域医療体制の充実
2 福祉	・審査会業務の共同設置 ・障がい者福祉の推進 ・子育て支援の連携
3 教育	・学校教育の充実 ・図書館相互利用の促進 ・生涯学習の推進
4 産業振興	・地域資源を生かした観光振興等 ・農業の振興 ・通年雇用の促進
5 その他	・低炭素社会に向けた取組の推進 ・廃棄物の広域分担処理の推進 ・住民相談事業等の広域化

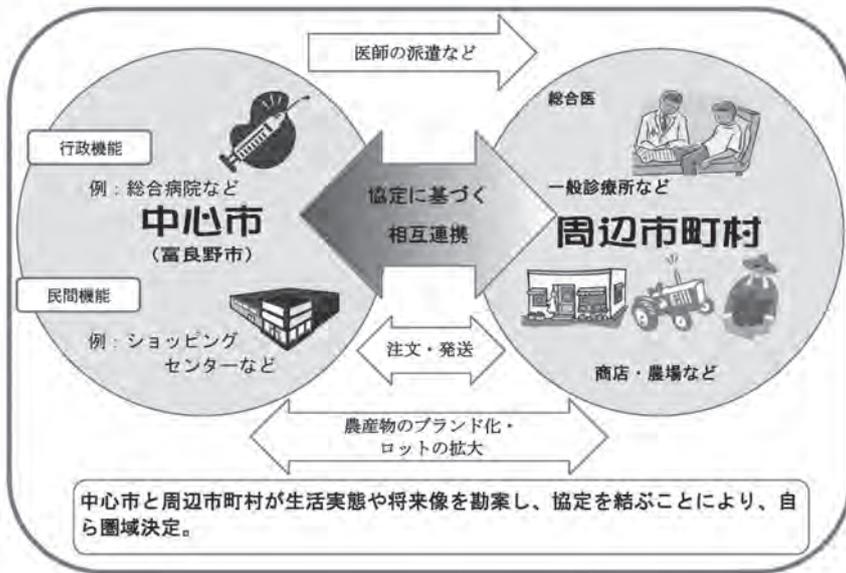
②結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

1 地域公共交通	・地域公共交通の確保
2 デジタルデバイドの解消へ 向けた ICT インフラ整備	・テレビ難視聴対策
3 道路等の交通インフラの整備	・交通ネットワークの形成
4 地域内外の住民との 交流・移住促進	・地域内外の住民との交流・移住促進

③圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

1 宣言中心市等における 人材の育成	・地域リーダー育成研修
2 圏域内市町村職員等の交流	・職員等の研修・交流

○定住自立圏のイメージ○



締結 「定住自

質疑

どんなことをするのか？

問

①協定書締結後の日程はどのようになるのか。②新聞の報道で町が外されていた。今回の議会で追加議案となったので、富良野市議会でもきちんと審議されるのか。また、合同の調印式に参加できるのか。③パブリックコメントの詳しい内容は。④共生ビジョン懇談会はどのような形で開催され、町からは誰が出席するのか。⑤住民への周知が不十分だと思う。今後の周知はどのように行うのか。

答

①富良野市、他の町村で議決された後に締結の日程が決まる。具体的な日程は今後の調整で決まる。②上程されると確認した。また、調印式は各市町村と調整し開催される。③パブリックコメントは共生ビジョンができた時点で1日以上20日以内の範囲内で実施する。④共生ビジョン懇談会は富良野市の各関係機関、各市町村からは1名の委員を選出し協議を行う。⑤関係所管と協議を行いたい。



予算は？

問

①すでに予算を計上している事業はあるのか。②新たに計上する事業はあるのか。

①現在、概算で試算している。支出は一般財源で2億円程度を見積もっている。あくまでも平成25年度の実施事業で想定される共生ビジョンの事業の概算。②平成25年度事業をベースにしているため、現在は想定していない。

答

合併の懸念は？

問

この協定を結ぶことによって、合併などの話も出てくるかと思う。この協定で不具合が出たときは、相互で協議して修正することとし、一方的に強制的なことをしてきた場合には拒絶することもできるという条文をいかに、この協定を最大限に発揮するということが求められるのではないか。

答

共生ビジョンの中で想定する事業は、現行の事業を基本としているので、そのようなことはないと考えている。協定の中で疑義が生じたときはそれぞれ協議をすることとしている。

補正予算

一般会計補正予算を可決

有利な補助を得るために泉町団地1号棟の整備を前倒して実施する経費や障害者自立支援介護給付の増額、草地生産力向上支援特別対策事業の実施、元氣臨時交付金事業などによる補正など、8億252万6千円を増額し、総額を75億4千375万7千円とする一般会計の補正予算を可決しました。

■ 12月補正予算の状況 ■

会計名	補正額	総予算額
一般会計	8億252万6千円	75億4375万7千円
国民健康保険特別会計	▲775万円	13億8342万2千円
後期高齢者医療特別会計	151万9千円	1億2226万1千円
介護保険特別会計	193万3千円	8億1924万4千円
ラベンダーハイツ特別会計	▲30万円	3億159万7千円
公共下水道事業特別会計	219万9千円	4億1267万8千円
水道事業特別会計	(事業費用) 0円	1億5742万5千円
病院事業特別会計	(事業費用) 0円 (資本的支出) 53万円	8億6903万6千円 1783万5千円

泉町南団地建替事業を 前倒して実施

泉町南団地の建替事業を、平成25年度に実施すると補助率が45%から50%になるため、平成26年度から実施する泉町南団地1号棟の建設について前倒して事業申請するため、繰越明許費3億4千582万7千円を追加するなどの補正を可決しました。

元氣臨時交付金事業の 財源調整などを実施

地域の元氣臨時交付金(地域経済活性化・雇用創出臨時交付金)を、公園施設や橋梁の長寿命化計画策定や、作業重機・大型水槽車の更新、橋梁架替工事3本・改良舗装工事3か所などの平成25年度事業に7千236万5千円を充当し、平成26年度事業のための公共施設整備基金に、3億9千48万3千円を積み立て、総額4億6千734万8千円の補正を可決しました。



改修を行う20号橋

生活灯

質疑

問 今後、100Wを超える生活灯の補助を行う予定はないのか。

答 照度が十分で安価なLED電灯の普及を見ながら将来的に検討していく。

公共工事

問 橋梁等の長寿命化計画にユニバーサルデザインの導入は。

答 段差解消などは全面的な整備となり、長寿命化では難しい。

おしえて!!

『地域の元氣臨時交付金(地域経済活性化・雇用創出臨時交付金)』ってな~に?

国の緊急経済対策で追加される公共投資の地方負担に配慮し、地域経済の活性化と雇用の創出を図ることを目的とした交付金のこと

特別会計補正予算を可決

国民健康保険特別会計などの特別会計補正予算5件、水道事業などの企業会計補正予算2件を原案どおり可決しました。

ラベンダーハイツのトイレ・洗面所改修工事が完了

ラベンダーハイツのトイレ・洗面所などの改修工事が完了により、施設整備費などの調整を行い、一般会計からの繰入金30万円を減額する補正を可決しました。



改修を行ったラベンダーハイツのトイレ

質疑

問 施設修繕を繰入金で行っているが、今後の見通しは。

答 平成26年度以降も計画的に修繕・メンテナンスを行っていき、基金と収支のバランスを考慮しながら調整していく。

問 調理員が退職するが、正規職員の補充は行うのか。

答 正規職員の補充はせず、給食業務の全面委託について可能性を検討していく。

条例改正

使用料等の額を見直す

ための関係条例を可決

平成26年4月1日から消費税率が5%から8%に改定されるため、条例で規定している使用料などの見直し、関係条例の改正を行うものです。

「上富良野行政財産の目的外使用に関する使用料徴収条例の一部を改正する条例」により13件の条例を改正しました。

質疑

問 消費税増税による町の会計への影響額は。

答 概算で、おおよそ6千万円と考えられる。

町立学校設置条例を

一部改正

平成25年度で東中中学校が閉校することにより、平成26年4月1日から「上富良野町立東中中学校」の項を削る改正を原案どおり可決しました。

意見書を国などに提出しました

日本型直接支払制度の創設及び経営所得安定対策等の見直しに関する意見書

米の直接支払制度など「農政改革」による地方自治体負担を改め全額国費とすることや、水田農家の所得確保に配慮した上で、国による米価需給の安定生産調整や需給調整など配慮を求める意見書です。

平成26年度畜産物価格決定等に関する意見書

TPP交渉で農産物重要5品目が守れない場合は脱退すること。加工原料乳生産者補給金単価は適正な水準を確保すること。牛肉豚肉の安定価格や肉用子牛保証基準価格が畜産経営の安定と再生産の確保が図られるよう、対策の充実を図ること。

また、地域の特性を踏まえた自給飼料増産対策を推進し、配合飼料の価格安定を図ることや家族酪農経営環境の充実を図るために、酪農ヘルパー利用組合への総合的な支援事業の強化を求める意見書です。

利用者本位の持続可能な

介護保険制度の確立を求める意見書

平成26年度に改定される予定の新介護保障制度は市町村への財政負担の増や一定の所得のある利用者へ負担引き上げなど、介護サービスの安定供給に懸念が考えられるので、現行法を維持すること。介護人材の確保のため処遇改善や人材教育などに財政措置の施策を講じること。地域包括ケアシステムの推進により、24時間定期巡回・随時対応サービスや小規模多機能サービス等の現状を検討し、法的な改善などを強く求める意見書です。

平成24年度各会計決算認定 11項目の審査意見を付す

平成24年度の各会計（一般・特別）及び企業会計の決算は、決算特別委員会（長谷川德行委員長）を

設置し、10月2日から4日の3日間開催しました。二つの分科会による書類審査と、全体での議案審査に伴う質疑（74項目）を行い、第4回定例町議会で11項目の審査意見を付して認定しました。



●24年度に取り組んだ主な事業●

◇予約型乗合タクシーの全町対象の実施

高齢者や障がい者の方々を対象に、生活支援や閉じこもりを予防するため、予約型乗合タクシーの運行区域を全町に拡大して実施しました。

利用者登録数 659名（昨年475名）
年間運行回数 3千417回（昨年2千288回）
年間乗車人数 6千823人（昨年4千248人）
稼働率 73%（昨年57.6%）

◇省エネ型生活灯の新設・改修

町と町内会で経費を負担している生活灯の電気料の削減と器具などの長寿命化を目的に100Wまでの生活灯のLED化を実施しました。

新設24基（昨年 2基）計26基
改修381基（昨年 327基）計708基

◇自主防災組織の活性化に防災士の養成

全町25住民会のうち、21住民会が自主防災組織化されているが、組織の活動活性化のために防災の知識を有する防災士の養成を行い、地域の防災対策や災害弱者名簿作成などの中心になるための施策を実施しました。（目標は平成24年度から3年間で1住民会2名、合計50名）

住民会 13住民会
資格者 15名

◇西小学校体育館の耐震改修工事

教育環境づくりとして、西小学校体育館の耐震改修工事を実施し、安全・安心で機能的な学習環境を整備しました。

審査意見

一般会計

◇町税等の収納

収納率向上がみられるが、不納欠損に至らぬよう収納率の向上に努められたい。

◇災害復旧対策

施工に努められたい。災害復旧については、恒久的な対策を図られたい。

国保会計

◇演習場周辺地区整備補助事業

公平性・客観性に基づき本来の目的に沿った適切な執行に努められたい。

◇国保税の収納

国保税の収納は分納などを活用し、不納欠損にならないよう努力されたい。

◇定住・移住促進

より具体的な目標を定め、先進的な実効ある取り組みを進められたい。

ハイツ会計

◇施設の今後

施設の今後のあり方について検討を図られたい。

◇農業後継者対策

アグリパートナー事業は内容の見直しを図り、後継者の育成に努められたい。

病院事業会計

◇病院運営

運営については大変な努力が見られるが、町民の健康・生命を守るために引き続き安定した経営に努められたい。

◇地場産品のブランド力

地域資源をいかし、町のブランド力推進を図られたい。

◇医師・看護師等の確保

現場の監理・監督を厳正に行い、適切な

◇公共工事

今後とも、医師・看護師等の確保に努められたい。

ズバリ

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに町部局に対して行財政全般の考え方や疑問を問うことです。執行機関に所信を問い、事実を質すことにより、公正な行政を確保しようとするものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。詳細は、後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができますので、ぜひ、議場へお越しください。



まちぐるりを問う！

ページ	質問議員	質問事項
8	村上 和子 議員	1 ホームヘルパー資格取得の補助を考えるとどうか 2 個人商店への購買力維持と、買い物難民・弱者対策としてコールセンター（買い物支援サービス）の設置を 3 自主防災組織向けのDVDを作成してはどうか
9	米沢 義英 議員	1 消費者、商工業者の動向実態調査について 2 商店リニューアル助成について 3 住宅リフォーム事業について 4 福祉灯油について 5 学校施設の閉校後の活用について 6 上富良野高校への学校給食の提供について
10	中澤 良隆 議員	1 市民後見人の育成と活動支援について 2 総合計画の中間年の見直しについて

次の定例会の予定は下記の5日間です。

3月4日（火） 報告案件、補正予算など

5日（水） 執行方針、新年度予算など

11日（火） 一般質問

12日（水） 一般質問

19日（水） 条例改正など

お気軽に、傍聴にお越しください。



村上 和子 議員

福祉

ホームヘルパー 資格取得の補助を 現時点では考えていない

村上議員

介護従事者が

不足の状況にあり、ホームヘルパー2級講座が25年3月で終了する。4月以降は初任者研修修了者として資格は継承される。しかし、筆記試験受験時間が長くなり、金額も15万円と高額であるため、町として補助す

不足の状況にあり、ホームヘルパー2級講座が25年3月で終了する。4月以降は初任者研修修了者として資格は継承される。しかし、筆記試験受験時間が長くなり、金額も15万円と高額であるため、町として補助す



訪問ヘルパーの活動

向山町長

富良野地域人材開発センターで、医師会・専門職の協力により、5万9千800円と設定している。資格の取得は個々の意思で目指すものであり、補助制度は現時点では考えていない。

村上議員

人材開発センターの講習は年2回しか行っていない。20名の募集に対して17名と定員割れ。医師会の協力を得て行われているので、1日

の受講時間が少なく、1か月以上かかり、筆記試験もある。必ず合格するとは限らない。資格取得が介護職の始まりであり、将来、介護従事者の先細りになる心配がある。何らかの補助制度を考えるべきではないか。

向山町長

潜在的に資格取得者がいるので、その方々が活躍できるように力を注ぐ。

防災

自主防災組織向けに DVDの作成を DVD教材の 導入を検討する

村上議員

自主防災組織の役割や、応急手当の仕方、救出方法、防災メモルの登録方法などを収録したDVDを作成しては、地域の研修で使うなど、災害対応を根付かせ、災害に強いまちづくりをするべきではないか。

向山町長

自主防災組織に対して、出前講座の活

用や、防災意識・防災力向上の研修を実施している。講習会や研修には防災ハンドブック、ハザードマップの冊子を活用しており、防災に関するDVD教材は多数出版されているので、それらの内容を研究し、導入は検討していく。

福祉

コールセンターの設置で 雇用と買い物弱者対策を 福祉増進など 支援できる部分で検討する

村上議員

大型スーパー1店が撤退し、個店も減少している。このままでは商店がなくなってしまうのではないかと、高齢者の買い物支援対策として、自衛隊OBなどを雇用し、コールセンターの設置をしてはどうか。

向山町長

店舗の減少により、購買力が町外へ流出する懸念を抱いている。買い物弱者を支援するには、買い物弱者を支援する必要がある。買い物弱者を支援する必要がある。買い物弱者を支援する必要がある。



商店街

かし、コールセンターの設置は民間事業者が担うもの。そのような動きがあり、福祉増進などで支援できる部分があれば検討する。



米沢 義英 議員

商 工

商店リニューアル 助成事業補助を

助成制度としては
馴染まない

米沢議員

小売、宿泊、飲食サービス業を営んでいる事業者は、壁の張替え、冷蔵庫、ガス台などの設備更新費用に対して補助制度を設けては。

向山町長

平成13年度から18年度まで、商業振興条例を制定し、店舗の新築・改築事業に対する助成制度を講じてきた経緯がある。営業機器の更新や店舗のリニューアルのみを目



油污れなどで故障が起きる厨房機器

的とした助成制度を設けることは、本来、事業者自らが経営方針に基づい

て行われるものと認識しており、商業振興施策での助成制度としては馴染まないものと思われ、その考えは持ち合わせていない。融資制度は、現在、融資枠を拡大して対応し

ている実態にあり、十分その機能を果たしているものと考えている。また、時代の変化に対応して、制度を改善していく必要が生じた場合は、検討したい。

住 宅

住宅リフォーム

補助事業の継続を

リフォーム補助事業を

継続したい

米沢議員

住宅リフォーム補助事業は平成25年度で終了するが、補助制度の内容も見直し、継続すべきでは。

向山町長

現在、実施している事業は、平成23年度から今年度まで3年間の期間で、リフォームや省エネ住宅設備機器の導入に対し、その費用の一部を助成する



住宅リフォーム補助で設置された太陽光パネル

ことにより、エネルギー対策と快適な住宅づくりを促進し、併せて町内住

教 育

上富良野高校への

学校給食の提供を

研究、検討を続けたい

米沢議員

上富良野町では、上富良野高校の生徒の確保と間口維持のために就学支援などの支援策を強化してきた。学校給食の提供ができるようにはどうするか。

服部教育長

本年度より上富良野高校に対する新たな支援策として、通学交通費や下宿代、就学支援金の助成を行い、保護者の経済負担の軽減などの支援策を始めた。学校給食の提供は、3月の定例会で答弁したが、更な



宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を図ることを目的としたもの。平成23年度から24年11月末までの実績は合計107件。この事業に係る工事費総額は、2億7千405万円、全額が本制度により喚起

されたものでないにしても、雇用の増進を含めて町内の経済振興へ一定程度の波及効果があったものと評価している。来年度から3年間をめぐりにリフォーム助成を継続したい。

る支援は、本年度からの支援策の状況などを見極めながら、研究、検討を続けたい。



中澤 良隆 議員

福祉

市民後見人の育成と

活動支援を

認知症高齢者のためにも 必要性は高い

中澤議員

認知症高齢者は8人に1人、予備軍を入れば4人に1人という現状にある。認知症の方の財産管理や、福祉サービスの契約を本人に代わって行うボランティアの「市民後見人」が必要になってくるのでは。

向山町長

市民後見人は、認知症高齢者の日常的な見守りや生活相談などの後見業務が期待される役割と受け止めている。

わが町では専門職後見



保健福祉課での相談の様子

中澤議員

わが町に市民

後見人の養成講座を修了した方はいるのか。また、その方々の活動状況は。
向山町長 講座修了者は4名である。現在、業務量の多さや責任の重さなどの理由で活動には至っていない。
中澤議員 心配や不安な点を把握し、行政として取り除くことが必要ではないか。
向山町長 市民後見人をサポートできる専門機関の整備が必要と考えている。

計画

総合計画の中間年の

見直しの状況は

すでに見直しを終え、

報告書が完成

中澤議員

町の最上位計画の第5次総合計画（平成21年度～平成30年度）は中間年を迎えた。中間年に見直しを進めることになっており、現在の見直し体制と進行状況は。

向山町長

後期5カ年の

おしえて!!
『市民後見人』ってなに？
認知症や知的・精神障がいなどにより判断力が不十分な人によって、一般市民が財産管理などの後見業務をする人のこと

中澤議員

市民後見人の養成と受講料助成の考えはないのか。

向山町長

養成講座を近隣市町村との共同開催の可能性を探るとともに、受講料の助成についても検討課題である。

中澤議員

平成30年の目標人口は1万1千900人。

現在は1万1千526人、374名の減少となっております。

目標人口の見直しを行わないのか。

向山町長

目標人口は基本構想に掲げられているもので、まちづくりの基本方針、施策の大綱を示したものであるため、引き続き1万1千900人の目標人口をめざす。

定住・移住策の強化により目標人口の達成をめざす。

中澤議員

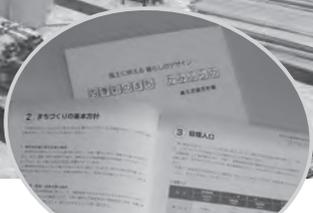
平成24年12月の選挙で町民と約束した「まちづくり」を総合計画の見直しで、どこに重点をおき「まちづくり」を進めるのか。

向山町長

特に重点を置くのは暮らしの安心づくり、災害から住民を守る基盤と体制づくり、強い産業基盤の整備、人材育成などである。



上富良野小学校改築工事の現場



第5次総合計画書

議会の窓



10月15日 富良野沿線市町村議会議員研修会

16日 和歌山県日高町議会視察来町

22日 厚生文教常任委員会

23日 福岡県芦屋町議会視察来町

30日 上川管内町村議会議員研修会

11月5日 全員協議会、第6回臨時会

8日 熊本県宇城市議会視察来町

12日 議会広報特別委員会

13日 厚生文教常任委員会

21日 議会運営委員会

24日 厚生文教常任委員会

12月2日 道外先進市町村行政調査（～28日まで）

3日 厚生文教常任委員会

4日 総務産建常任委員会

5日 議会運営委員会

10日 全員協議会、議会広報特別委員会

11日 議会運営委員会、第3回定例会（1日目）、

第3回定例会（2日目）、議会広報特別委員会

13日 議会報告会

16日 議会運営委員会、厚生文教常任委員会

20日 議会広報特別委員会

21日 議会広報特別委員会

2月3日 議会運営委員会先進市町村行政調査（～23日）

31日 中富良野町議会議員会との交流研修会

総務産建常任委員会・

厚生文教常任委員会合同委員会協議会

◆和歌山県日高町議会が来町



10月16日に総務福祉常任委員会が「特定検診の受診」について調査するため来町しました。
担当職員から町の特定健診の歴史や概要などを説明し、活発な意見交換が行われました。
その後、かみんを視察されました。

◆福岡県芦屋町議会が来町



10月23日に民生文教委員会が「保健事業の取り組み」について調査するため来町しました。
生活習慣病の予防や改善、特定健診、かみふっ子健診などについて説明し、質疑など意見交換を行いました。

◆熊本県宇城市議会が来町



11月8日に会派「清風会」が「健康増進事業における特定健診」について調査するため来町しました。
宇城市では保健師の知識は高まってはいるものの、実際の取り組みには結びついていないため、組織機構の対策などについて意見交換が行われました。

◆富良野沿線市町村議会議員研修会



10月15日に富良野沿線5市町村の議員研修会が南富良野町で開催され、12名が参加しました。
（株）ファーマーズ・フォレスト代表取締役社長 松本謙氏から「食と農によるまちづくり」をテーマにした講演を受講しました。

◆上川町村議会議員研修会



10月30日に上川町村議会議長会が主催する議員研修会に10名が参加しました。
「TPP交渉の現状と国民生活への影響」、「激動の政治情勢を読む」をテーマにした講演を受講しました。

◆中富良野町議会議員会との交流研修会



1月31日に例年交互に開催している中富良野町議会議員会との交流研修会を開催し、14名が参加しました。
2グループに分かれ「広域連合広域計画」や「定住自立圏構想」などについて意見交換を行いました。

「町のひと」へインタビュー



田中 和正さん (東12線北20号)

第81号から、上富良野町に移住され、それぞれの立場で頑張っている方々にスポットを当て、お話を聞かせていただく企画で取り組むことになりました。第1回目は田中和正さんを訪ねました。

移住されたのはいつごろですか

平成4年4月に夫婦、中学1年生の長男・小学4年生の長女と3年生の次男の5人で移住しました。

東12線北20号の離農した農家に入植して、水田1.5ha、稲作と小豆など2年間の指導を受けながら、3年目から有機農業に取り組み、苦労はありましたが何とか軌道に乗せてやっています。

どちらから来られたのですか

長崎県大村市です。県職員をしていました。なぜ、上富良野で農業をやるつもりですか

思ったのですか

大自然に触れ、大自然のもとで田舎暮らしをしたかったのです。とにかく上富良野町の景色と自然環境が最高です。6・7年前からホテルも来るようになりました。使われている身と違いストレ

スのない生き方ができ、大変、上富良野町が気に入っています。



なぜ、難しいと

思われる有機農業を始めたのですか

有機肥料は高いが、野菜を元気に育てれば健康な野菜を作ることができ、体にも大変いい。将来の子どもたちのことも考えて無我夢中で働いてきました。

現在は子どもは独立し、長男夫婦孫二人二世帯で農業を営んでいます。NGO団体WWOOF

のホストを始め、毎年20数名の若者たちが訪れ、農業体験を通じて交流を深めています。世界平和・環境・食などを語り合っています。

地域とのふれあいはいかがですか

周辺の皆さんは温かく包み込んでくれ違和感はありません。しかし、この地で生まれて小・中・高校の同級生と子どもたちから接している方たちと、越えられない垣根を感じることもあります。世の中の生き方は人様々ですが、便利さばかりを求めるのではなく、真の豊かさとは何かを追求したいと思います。

行政に望むことは

ありませんか

こんなに素晴らしい景色などを生かしていただけないのでは。定住となる仕事がないので甘いこととは言えない。定住後の雇用が必要だと思っ

(インタビュー… 村上委員長)

あとかぎ

■1月12日の成人式終了後、議会だよりの表紙の取材で高田幼稚園の「タイムカプセル贈呈式」に行きました。「お花屋さん、ケーキ屋さん」振袖を着た女性の新成人の絵、「学校の先生、自衛官」スーツに身をかためた男性の新成人。幼稚園を卒園するときに二十歳の自分の姿を思い描いた一枚の絵。14年ぶりに当時の担任の先生から照れながら一枚の絵を受け取る表情は、6歳の幼稚園当時の姿そのまま。

■自分の夢をかなえた人、まだ夢半ばのひと、進路に迷っている人、新成人の方もいろいろ。平成26年が二十歳の皆さんにとって明るく希望に満ちた年であってほしいと、大人の先輩として彼らのためにも道を開いていかなければならないと決意を新たにしました。

■議会だより81号から紙面構成を変えました。読みやすくなったでしょうか。「みんなの声」はどうでしたか？わかりやすく読みやすい議会だよりを目指しています。感想やご意見をお寄せ下さい。

(中澤 記)

議会広報特別委員会



- 委員長 村上 和子
- 副委員長 中澤 良隆
- 委員 佐川 典子
- 米沢 義英
- 徳武 良弘
- 中村 有秀

発行/上富良野町議会 印刷/株総北海
〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町二二二
☎(0167)45692 Fax(0167)455322
http://www.town.kanifurano.hokkaido.jp